

◆ 今週のコメント (感染地域, 感染経路については推定を含みます。)

- 腸管出血性大腸菌感染症の報告が1例(30歳代女性)ありました。本年の累積報告数は5例となっています。発生状況の週別推移や血清型別患者数などの詳しい情報については, 下記URLを御参照ください。
○腸管出血性大腸菌感染症発生状況(衛生環境研究所ホームページ)
<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000068305.html>
- A型肝炎の報告が1例(70歳代女性)(第23週追加分)があり, 症状は全身倦怠感・発熱・食欲不振・黄疸・肝機能異常です。感染地域は国内です。本年の累積報告数は2例となりました。
- 侵襲性インフルエンザ菌感染症の報告が1例(90歳代女性)(第23週追加分)あり, 症状は肺炎・菌血症です。感染地域は国内で, 感染経路は飛沫・飛沫核感染です。本年の累積報告数は3例となりました。
- 梅毒の報告が1例(20歳代男性)ありました。症状は硬性下疳・鼠径部リンパ節腫脹, 感染地域は国内, 感染経路は性的接触(異性間)です。本年の累積報告数は38例となりました。
コンドームの使用や, 不特定多数の性的接触を避けるなど予防策をとってください。重症化及び感染拡大を防ぐためには早期発見, 早期治療が非常に重要です。
梅毒の感染経路や治療, 予防等に関しては, 下記ホームページを御覧ください。
○京都市情報館「京都市衛生環境研究所にゅーす(平成29年度第1号)「性感染症」って何?」
<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/cmsfiles/contents/0000175/175313/29-1.pdf>
○厚生労働省「梅毒に関するQ&A」
http://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekaku-kansenshou/seikansenshou/qanda2.html
- 百日咳の報告が1例(10歳未満男性)あり, 症状は持続する咳, 夜間の咳き込みです。感染地域は国内, 感染経路は家族内感染です。本年の累積報告数は10例となりました。

◆ 今週のトピックス: <災害と感染症>

6月18日には大阪府北部で大規模な地震が発生しました。災害時になると平時の良好な衛生環境は一変します。感染症に対して無防備な環境となる上, 体力消耗, 睡眠不足, 栄養不足, 精神的ストレス, 自然免疫の低下が重なり, 災害弱者を生むこととなります。詳細をトピックスに掲載しています。

◆ 発生状況

全数把握の感染症

- 二類: 結核 5例(肺結核 3例, その他結核 1例, 潜在性結核感染者 1例)うち喀痰塗抹陽性 3例
【1月以降の累積報告数 155例(肺結核 68例, その他結核 36例, 潜在性結核感染者 51例)うち喀痰塗抹陽性 36例】
- 三類: 腸管出血性大腸菌感染症 1例【1月以降の累積報告数5例】
- 四類: A型肝炎 1例【1月以降の累積報告数 2例】
- 五類: 侵襲性インフルエンザ菌感染症 1例【1月以降の累積報告数 3例】
- 五類: 梅毒 1例【1月以降の累積報告数 38例】
- 五類: 百日咳 1例【1月以降の累積報告数 10例】

定点把握の主な感染症

(市内定点数 インフルエンザ定点69, 小児科定点43, 眼科定点10, 基幹定点1)

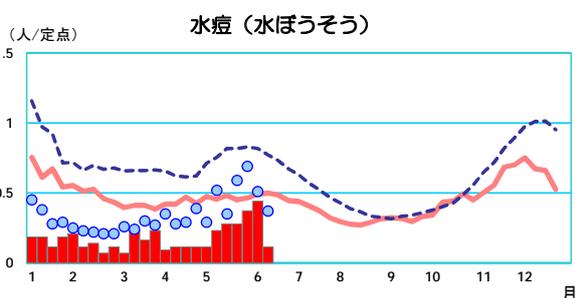
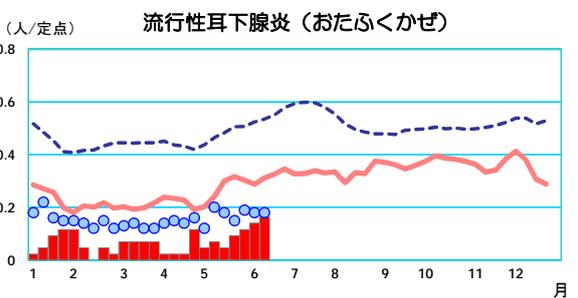
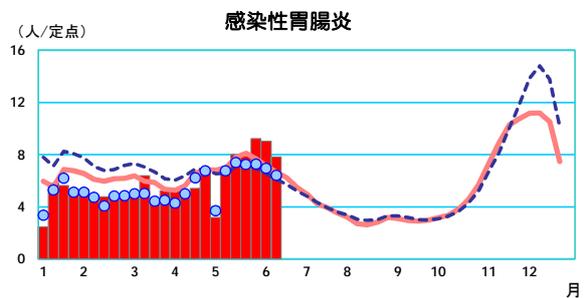
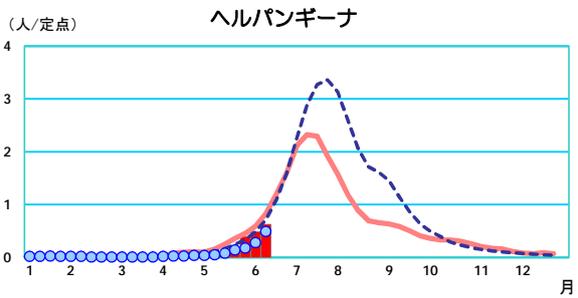
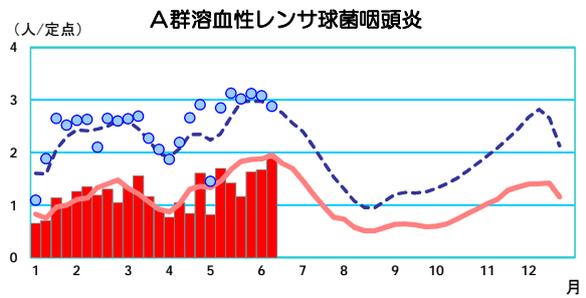
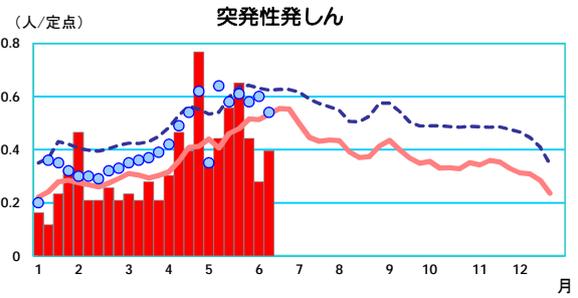
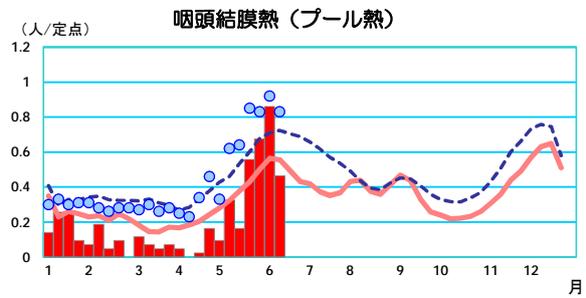
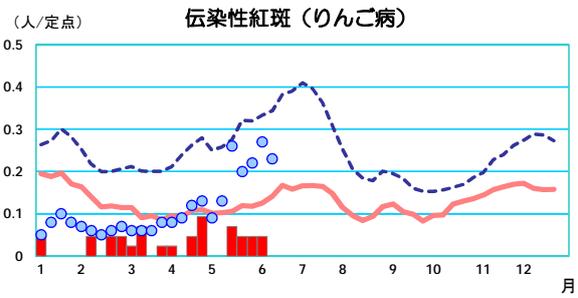
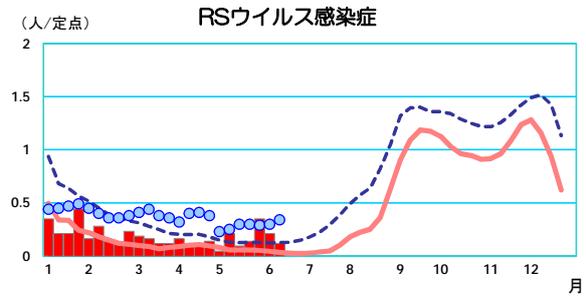
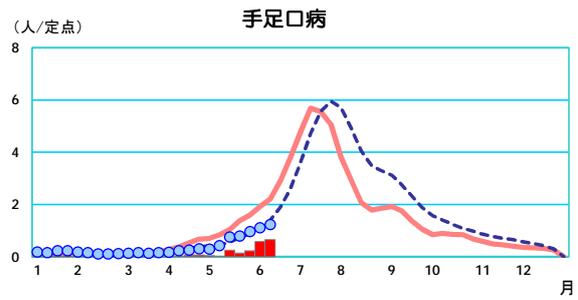
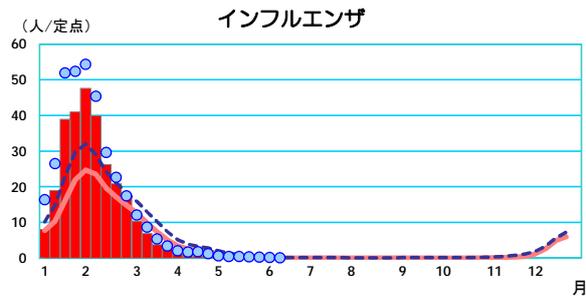
定点	感染症名	定点当たり報告数	報告数
インフルエンザ*	インフルエンザ	0.00	0
小児科 (降順5位まで)	① 感染性胃腸炎	7.84	337
	② A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.88	81
	③ 手足口病	0.65	28
	④ ヘルパンギーナ	0.63	27
	⑤ 咽頭結膜熱	0.47	20
眼科	流行性角結膜炎	0.60	6

【次ページ以降の主な内容】

発生状況の概況グラフ / 今週のトピックス: <災害と感染症>
付表(疾病, 行政区別報告数 / 年齢階級, 疾病別報告数 / 週, 疾病別報告数)

(注) 京都市のデータは, 平成30年6月20日現在の報告数で, 全国の還元データと若干異なる場合があります。
また, 本情報での患者数は, 届出医療機関所在地での集計で, 患者の住所を示すものではありません。
※ 感染地域及び感染経路については推定を含みます。

インフルエンザ及び小児感染症の疾病別推移グラフ（平成30年）



第24週(6月11日～6月17日)トピックス: <災害と感染症>

2018年6月18日大阪府北部を震源とするマグニチュード6.1の地震が発生し、近畿の広い範囲で被害が発生しました。被害にあわれた皆様に心よりお見舞い申し上げますとともに、犠牲になられた方々とご遺族の皆様に対し、深くお悔やみを申し上げます。

わが国及び京都市は、廃棄物の適正処理、浄化下水の整備、安全な水・食品、高いワクチン接種率、高い医療水準と、感染症リスクの面できわめて良好な水準を維持できています。しかし、災害時になると様相は一変します。感染症に対して無防備な環境となる上、体力消耗、睡眠不足、栄養不足、精神的ストレス、自然免疫の低下が重なり、災害弱者を生むこととなります。

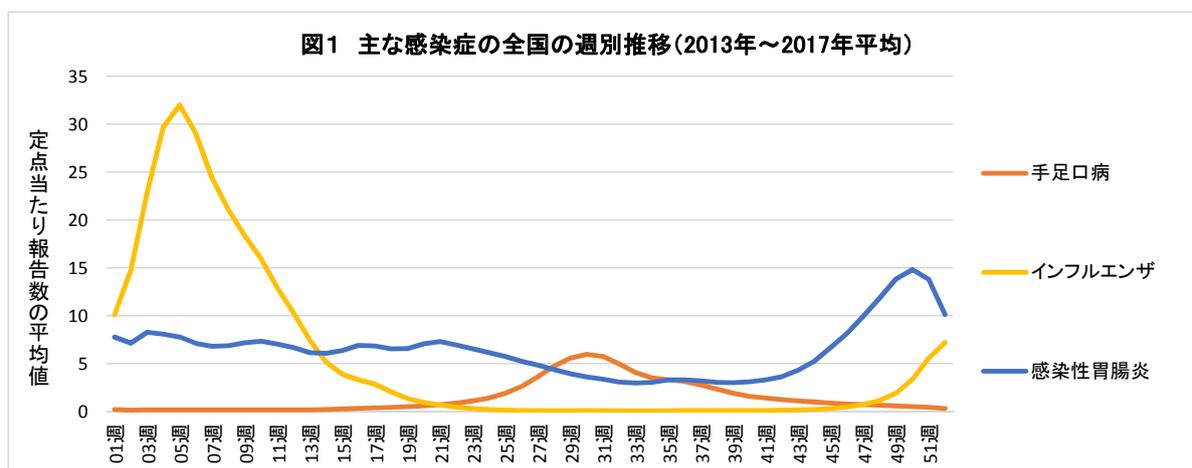
災害弱者の感染症に対応するためには、災害時特有の感染症と、避難生活や衛生環境の悪化に関連した感染症に分けて考える必要があります。

災害時特有の感染症として、破傷風、ガス壊疽(大きな外傷により血行が障害され、皮下組織で細菌が増殖して、ガスが作られる感染症)、誤嚥性肺炎(口腔内の清潔が不十分で細菌がより多く増殖し、誤嚥によりその細菌が気管から肺へと吸引されて発症する肺炎)などがあります。これらの感染症は、災害発生から比較的早期に注意が必要です。

一方、避難所などでは、集団密集状態、不十分な換気、上下水道の未復旧など衛生環境悪化に伴う感染症の流行に注意する必要があります。特に呼吸器系感染症(麻しん・風しん、手足口病、水痘、インフルエンザ等)と消化器系感染症(感染性胃腸炎、各種食中毒、ノロウイルス、コレラ、赤痢等)については、避難所全体に集団感染を引き起こすおそれがあり、避難生活の期間を通じて継続的に注意が必要です。

例示した避難所で注意が必要な感染症の一部について、全国の週別報告数(2013年～2017年の平均)を示しました(図1)。インフルエンザは冬場、手足口病は夏場にピークが見られます。感染性胃腸炎は冬場にピークがありますが、年間を通して報告があります。

東日本大震災時には、同一避難所内で急速にインフルエンザが広がった例、当時関東・関西地域で流行していた手足口病が1～2ヶ月遅れて被災地で流行した例が報告されており、緊急援助者の持ち込みによる流行対策にも留意する必要があります。



なお、大阪・京都では現在も避難所で生活される方々がおられます。避難所を管理される方は、東日本大震災時に作成された「避難所生活を過ごされる方々の健康管理に関するガイドライン」が参考になります。

○ <http://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/2r9852000001enj7-att/2r9852000001enj7.pdf>

また、災害時には感染症予防に必要な物資が充足しない事態を想定し、手洗い、咳エチケットも実際に手に入るもので柔軟に対応しなければなりません。

中でも手洗いは最も重要な感染予防策で、特にそのタイミングが重要です(下表)。断水等で流水が使用できない場合はアルコール消毒剤を使用するなど、可能な範囲で手指衛生に努めてください。

また、ワクチンで予防できる感染症もあり、平常時にワクチンを接種しておくことも一つの災害感染対策といえます。

断水等で流水が使用できない場合の手洗い方法、マスクがない場合の咳エチケット方法について、国立感染症研究所の下記アドレスのホームページにさらに詳しく紹介されています。

○ <https://www.niid.go.jp/niid/ja/disaster/earthquake201604/2377-idsc/6433-kumamoto-qa-poster.html>

いつ手洗いをすべきか

- ・食物を食べる前
- ・未調理の食品に触れた後→特に生肉、生魚
- ・トイレ(排泄)の後
- ・排泄後のオムツに触れた後や、こどもの身体を拭いた後
- ・病人の世話をする前と後
- ・切り傷などの手当をする前と後
- ・鼻をかんだり、咳をしたり、くしゃみをした後
- ・動物や動物の排泄物を取り扱った後
- ・ゴミ(廃棄物)を取り扱った後



T3201

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成30年第24週

疾病,行政区別報告数

平成30年6月11日～平成30年6月17日

データ入手日:平成30年6月20日

	インフルエンザ(※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	頭炎 A群溶血性レンサ球菌咽	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎(※2)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎(※3)	感染性胃腸炎(※4)
男女合計	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
北	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
上京	-	-	2	3	13	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
左京	-	2	1	5	72	1	5	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-
中京	-	-	-	3	23	-	2	-	-	4	-	-	1	-	-	-	-	-
東山	-	-	-	1	28	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山科	-	2	2	14	2	1	-	-	1	2	1	-	-	-	-	-	-	-
下京	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
南	-	-	2	6	28	-	2	-	3	5	-	-	-	-	-	-	-	-
右京	-	1	7	25	38	-	11	-	3	11	1	-	5	-	-	-	-	-
伏見	-	-	3	11	94	3	3	-	5	4	1	-	-	-	-	-	-	-
西京	-	-	3	13	34	-	3	-	1	1	3	-	-	-	-	-	-	-
京都市計	-	5	20	81	337	5	28	-	17	27	7	-	6	-	-	-	-	-

疾病,行政区別定点当たり報告数

	インフルエンザ(※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	頭炎 A群溶血性レンサ球菌咽	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎(※2)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎(※3)	感染性胃腸炎(※4)
男女合計	-	-	-	-	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
北	-	-	-	-	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
上京	-	-	0.67	1.00	4.33	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
左京	-	0.50	0.25	1.25	18.00	0.25	1.25	-	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-
中京	-	-	-	1.00	7.67	-	0.67	-	-	1.33	-	-	0.50	-	-	-	-	-
東山	-	-	-	0.50	14.00	-	0.50	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山科	-	0.40	0.40	2.80	0.40	0.20	-	-	0.20	0.40	0.20	-	-	-	-	-	-	-
下京	-	-	-	-	0.50	-	0.50	-	-	-	0.50	-	-	-	-	-	-	-
南	-	-	0.67	2.00	9.33	-	0.67	-	1.00	1.67	-	-	-	-	-	-	-	-
右京	-	0.20	1.40	5.00	7.60	-	2.20	-	0.60	2.20	0.20	-	5.00	-	-	-	-	-
伏見	-	-	0.43	1.57	13.43	0.43	0.43	-	0.71	0.57	0.14	-	-	-	-	-	-	-
西京	-	-	0.60	2.60	6.80	-	0.60	-	0.20	0.20	0.60	-	-	-	-	-	-	-
京都市計	-	0.12	0.47	1.88	7.84	0.12	0.65	-	0.40	0.63	0.16	-	0.60	-	-	-	-	-

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成30年第24週

年齢階級, 疾病別報告数

平成30年6月11日～平成30年6月17日

データ入手日:平成30年6月20日

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上	
男女合計	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上		
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上		
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上					
インフルエンザ(※1)	年齢1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
RSウイルス感染症	年齢3	5	-	-	4	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
咽頭結膜熱		20	-	2	13	2	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		81	-	-	3	5	10	13	8	9	6	7	7	8	2	3	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎		337	6	28	55	28	38	17	24	15	12	9	13	49	17	26	-	-	-	-	-	-	-
水痘		5	-	-	-	-	1	-	-	2	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病		28	-	2	9	9	3	3	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん		17	-	5	9	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ		27	-	1	9	6	2	4	1	-	2	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎		7	-	-	-	1	1	1	-	-	1	1	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
流行性角結膜炎	6	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	1	-	-	-	
細菌性髄膜炎(※2)	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
マイコプラズマ肺炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
クラミジア肺炎(※3)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
感染性胃腸炎(※4)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

年齢階級, 疾病別定点当り報告数

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
男女合計	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上				
インフルエンザ(※1)	年齢1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
RSウイルス感染症	年齢3	0.12	-	-	0.09	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱		0.47	-	0.05	0.30	0.05	0.02	0.02	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		1.88	-	-	0.07	0.12	0.23	0.30	0.19	0.21	0.14	0.16	0.16	0.19	0.05	0.07	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎		7.84	0.14	0.65	1.28	0.65	0.88	0.40	0.56	0.35	0.28	0.21	0.30	1.14	0.40	0.60	-	-	-	-	-	-
水痘		0.12	-	-	-	-	0.02	-	-	0.05	0.02	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病		0.65	-	0.05	0.21	0.21	0.07	0.07	0.02	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん		0.40	-	0.12	0.21	0.07	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ		0.63	-	0.02	0.21	0.14	0.05	0.09	0.02	-	0.05	-	-	0.05	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎		0.16	-	-	-	0.02	0.02	0.02	-	-	0.02	0.02	-	0.05	-	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
流行性角結膜炎	0.60	-	-	0.10	-	0.10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.20	-	0.10	0.10	-	-	
細菌性髄膜炎(※2)	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎(※3)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(※4)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

T3203

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成30年第24週

週, 疾病別報告数

データ入手日:平成30年6月20日

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ ※1	15	16	5	2	5	-
RSウイルス感染症	9	4	6	15	9	5
咽頭結膜熱	14	7	24	29	37	20
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	73	61	50	70	72	81
感染性胃腸炎	304	344	348	397	388	337
水痘	10	12	12	16	19	5
手足口病	1	11	6	10	25	28
伝染性紅斑	-	3	2	2	2	-
突発性発しん	19	24	28	19	12	17
ヘルパンギーナ	-	3	4	17	21	27
流行性耳下腺炎	3	2	4	5	6	7
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	2	10	3	2	2	6
細菌性髄膜炎 ※2	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 ※3	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 ※4	-	-	-	-	-	-
合計	450	497	492	584	598	533

週, 疾病別定点当たり報告数

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ ※1	0.22	0.23	0.07	0.03	0.07	-
RSウイルス感染症	0.21	0.09	0.14	0.35	0.21	0.12
咽頭結膜熱	0.33	0.16	0.56	0.67	0.86	0.47
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.70	1.42	1.16	1.63	1.67	1.88
感染性胃腸炎	7.07	8.00	8.09	9.23	9.02	7.84
水痘	0.23	0.28	0.28	0.37	0.44	0.12
手足口病	0.02	0.26	0.14	0.23	0.58	0.65
伝染性紅斑	-	0.07	0.05	0.05	0.05	-
突発性発しん	0.44	0.56	0.65	0.44	0.28	0.40
ヘルパンギーナ	-	0.07	0.09	0.40	0.49	0.63
流行性耳下腺炎	0.07	0.05	0.09	0.12	0.14	0.16
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	0.20	1.00	0.30	0.20	0.20	0.60
細菌性髄膜炎 ※2	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 ※3	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 ※4	-	-	-	-	-	-
合計	10.49	12.19	11.63	13.72	14.02	12.86

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。